

ジェーンズ邸の移築復旧について

1 経緯

2017.11.29(水) 市議会で市長答弁(市立体育館前電停に面した芝生広場への移築方針)
同日 ジェーンズ邸保存修理検討委員会開催
12.4(月) 市議会経済委員会で移築方針を説明

2018. 1.10(水) 砂取校区自治協議会、水前寺活性化 PT 会議で説明及び意見交換会

【主な意見】

- ・現地に約 50 年あり、地元では愛着がある。
- ・もし他の場所に移築するならば、要望、反対運動したい。
- ・電車通り前広場に移築すれば、市民や観光客から見える場所になり嬉しい。
- ・観光や道路部局とももっと連携して、案内板や周辺道路なども整備してほしい。

2018. 1.17(水) 一新校区自治協議会で説明及び意見交換会

【主な意見】

- ・前市長の公約であり、長年、市は「城域周辺への移築を検討」と説明してきたのに、今回の方針表明は唐突すぎる。
- ・意思決定の過程がおかしい。
- ・白紙撤回すべき。10 年かかってもいいから城域へ。
- ・県指定文化財であり、創建地は県立高校敷地内である。県の考えも聞きたい。
- ・ジェーンズ邸保存修理検討委員会の意見も聞きたい。

2018. 1.25(木) 市民全体への説明及び意見交換会

【主な意見】

- ・市の方針は唐突で納得できない。時間をかけて慎重に検討すべき。
- ・白紙に戻して議論すべき。市長と対話したい。
- ・新聞紙上での「国と協議の上移築先を決断」とはどういうことか。
- ・市民の声に寄り添い、今後も説明会を開いてほしい。
- ・新町の歴史を返してほしい。
- ・観光振興の面からは、目立つ電車通り沿いに出すのは良いことと思う。
- ・水前寺が熊本城と並ぶ観光地となるよう願う。
- ・ジェーンズ邸は、水前寺地区での熊本地震被害を象徴する建物として語り継ぐべき。